

第83期 中間株主通信

2019年4月1日▶▶2019年9月30日

高める、つくる、そして、支える。



熊谷組



建物名: しこちゅ〜ホール(四国中央市市民文化ホール) 発注者: 四国中央市



取締役社長 櫻野泰則

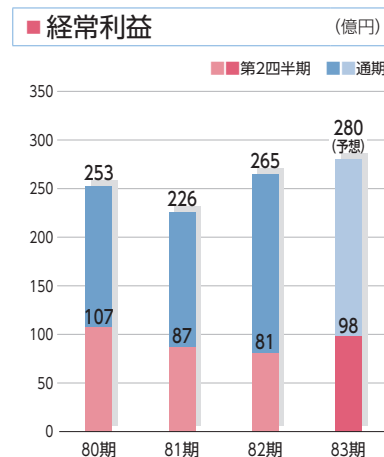
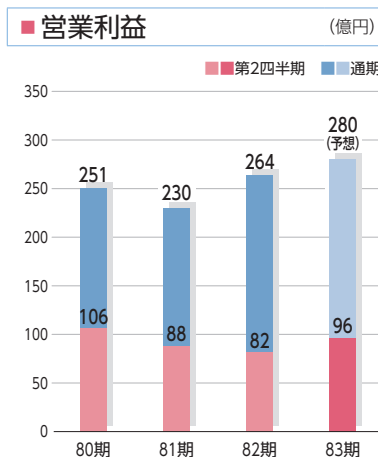
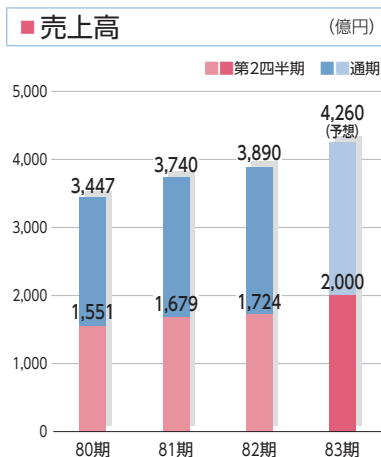
株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2019年9月30日をもって第83期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の前半を終了いたしましたので、ここに上半期の概況についてご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、米中間の貿易摩擦の深刻化からくる海外経済の不透明感等により足元の景況感は低下しているものの、企業収益が高水準を維持するなか設備投資は増加基調にあり、雇用や所得水準の改善傾向の持続により個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかに回復を続けております。

建設業界におきましては、住宅建設は弱含んでおり、また公共工事及び企業の建設投資も高水準にありながら緩慢な動きとなっておりますが、豊富な手持工事を背景に工事出来高は増加基調にあり、事業環境は良好な状況にあります。

連結業績ハイライト



当社グループはこのような状況のもと、2018年3月に策定した①建設工事請負事業の維持・拡大、②新たな事業の創出、③他社との戦略的連携を戦略の柱とする『熊谷組グループ 中期経営計画(2018～2020年度)～成長への挑戦～』に熊谷組グループ一丸となって取り組み、さらなる成長に向けて挑戦しているところであります。

当上半期の当社グループの連結業績につきましては、売上高は、前年同期比16.0%増の2,000億円となりました。

利益は、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益は同17.2%増の96億円、経常利益は同21.4%増の98億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は独占禁止法関連損失引当金戻入額13億円の特別利益への計上等により、同75.9%増の79億円となりました。

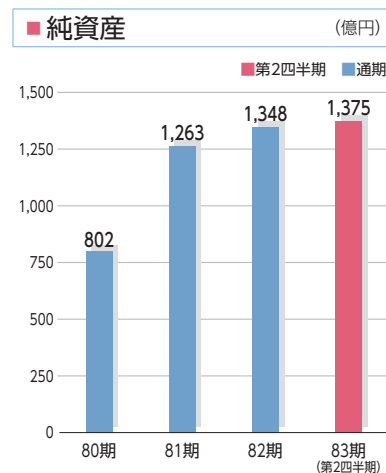
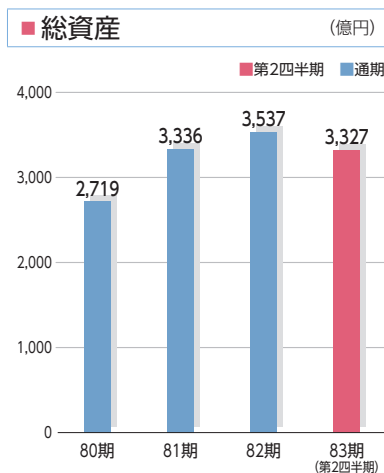
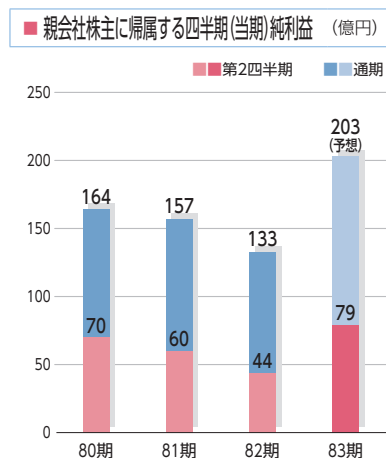
今後のわが国経済は、中国経済の減速や通商問題等の海外経済の動向、金融資本市場の変動の影響、相次ぐ自然災害の経済に与える影響、消費税増税に伴う消費の冷え込み等がリスクとして存在しますが、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、景気は引き

続き緩やかに回復していくことが期待されます。

建設業界におきましては、企業の建設投資は企業収益の改善や成長分野への対応等を背景に増加を続け、公共投資も2019年度予算には、消費税増税に対応した臨時・特別予算措置として「防災・減災、国土強靱化対策」等が盛り込まれるなど、事業環境は引き続き良好な状況で推移すると思われます。一方で建設技術者・技能者不足の進行やコスト高といったリスクには引き続き留意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは2017年11月に、5年後の連結売上高5,000億円・連結営業利益500億円を目指した中長期経営方針を定めるとともに、本方針に基づき、2018年3月に前述の『熊谷組グループ 中期経営計画(2018～2020年度)～成長への挑戦～』を策定しました。当社グループ一丸となって本計画に取り組み、持続的成長と企業価値向上を目指してまいります。

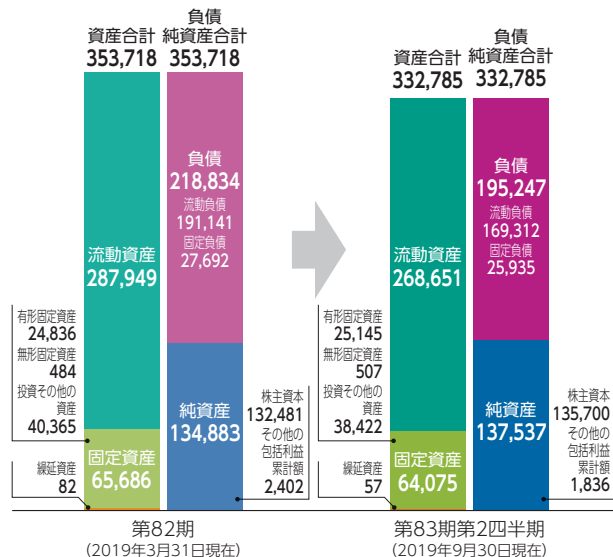
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



四半期連結財務情報(要約)

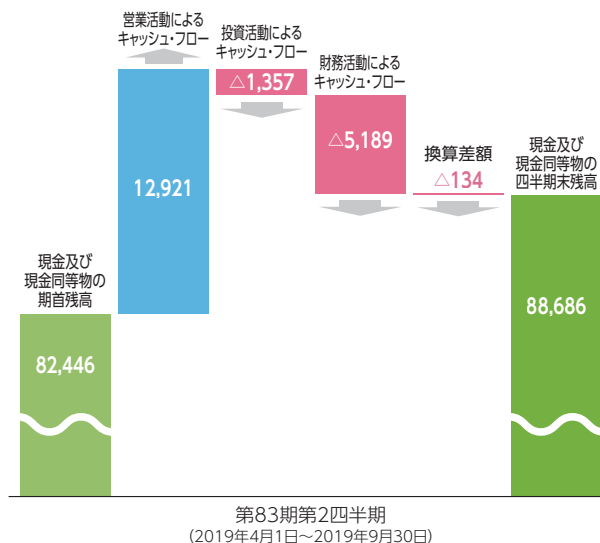
■ 四半期連結貸借対照表の状況

(百万円)



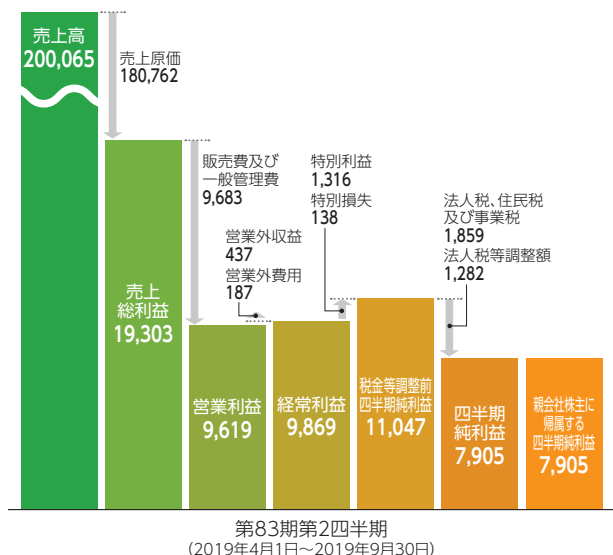
■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の状況

(百万円)



■ 四半期連結損益計算書の状況

(百万円)



ポイント

■ 四半期連結貸借対照表

総資産は3,327億円と前期末に比べて209億円減少しました。これは、受取手形・完成工事未収入金等の減少などによるものです。また純資産は利益剰余金の増加などにより、前期末に比べて26億円増加の1,375億円となりました。

自己資本比率は前期末に比べて3.2ポイント上昇し41.3%となりました。

■ 四半期連結損益計算書

売上高は前年同期に比べて275億円増加の2,000億円となり、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により経常利益は98億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は独占禁止法関連損失引当金戻入額の特別利益への計上等により79億円となりました。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

売上債権の減少等により、営業活動は129億円の資金増加となりました。

投資活動では有形固定資産の取得による支出などにより13億円の資金減少となりました。

財務活動では借入金の返済を進めたことや配当金の支払いなどにより51億円の資金減少となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて62億円増加の886億円となりました。

単体の業績について

受注高は、前年同期比66.1%減の816億円となりました。このうち、土木工事は395億円、建築工事は420億円であり、これらの発注者別内訳は官庁46.1%、民間53.9%であります。

売上高につきましては、同18.0%増の1,605億円となりました。このうち、土木工事は568億円、建築工事は1,037億円であり、これらの発注者別内訳は官庁24.3%、民間75.7%であります。

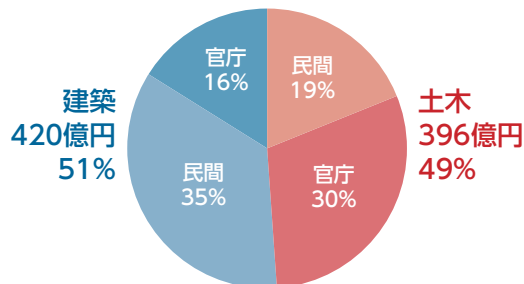
この結果、下半期への繰越高は、同7.0%減の4,914億円となりました。

利益につきましては、経常利益は82億円、四半期純利益は55億円となりました。

■ 損益の状況

区 分	83期上半期	前年同期比
受 注 高	816億円	(66.1%減)
売 上 高	1,605億円	(18.0%増)
繰 越 高	4,914億円	(7.0%減)
四 半 期 純 利 益	55億円	(31.7%増)

■ 受注高構成



主な受注工事及び完成工事

受注工事

- 新名神高速道路 田上羽栗森工事:西日本高速道路株式会社
- 平成31年度三遠道路1号トンネル工事:国土交通省
- 医療法人社団更生会 草津病院 西館新築工事:有限会社協調
- 大浜体育館建替整備運営事業 建設業務:
つながリーナ大浜 P F I 株式会社

完成工事

- 高速2号東山線トンネル天井板撤去工事:
名古屋高速道路公社
- 六甲山トンネル改築工事 他:神戸市道路公社
- Dタワー豊洲:大和ハウス工業株式会社
- ゲンキー株式会社 中部 R P D C :ゲンキー株式会社



医療法人社団更生会 草津病院 西館新築工事



大浜体育館建替整備運営事業 建設業務



高速2号東山線トンネル天井板撤去工事



Dタワー豊洲

TOPICS | トピックス |

当社元取締役社長 熊谷太一郎 「お別れの会」を執り行いました

当社の元取締役社長である熊谷太一郎が2019年6月21日、86歳にて逝去いたしました。熊谷太一郎は1958年に当社へ入社、1978年に4代目社長に就任し、19年にわたり当社の発展に尽力、その後は会長を務めました。

また、日本土木工業協会の会長や日本建設業団体連合会(旧・日建連)・海外建設協会の副会長を務め、社業だけではなく建設産業界の基盤整備と発展に寄与しました。こうした生前の功績がたたえられ、「従四位・旭日中綬章」を受章しています。

9月11日にザ・プリンスパークタワー東京、9月30日に福井商工会議



所・コンベンションホールでお別れの会が執り行われ、合計で約1,700名が参会しました。

会場では熊谷太一郎の歩んだ人生を数々の写真で展示し、参会者は展示物を見ながら在りし日を偲びました。

創業の工事、土木遺産を保存・活用へ

「宿布発電所」跡地を整備し、福井市に寄贈しました

宿布発電所(福井市宿布町)は、1899年5月に、京都電燈株式会社(現・北陸電力)によって福井県で初の、北陸では2番目の水力発電所として運転を開始しました。

1898年、当社の創業者、熊谷三太郎は当社初の請負工事として、この発電所の導水路や貯水池の石積み工事にあたりました。当社ではこれをもって創業元年とし、ここを当社の事業発祥の地としています。



宿布発電所は、繊維業をはじめとする福井の近代産業の幕開けを担い、半世紀以上にわたって活躍しましたが、1956年に老朽化のため廃止されました。その後、発電所跡地は土に埋もれ、当時の構造物が現代まで残り、120年前の水力発電の様子を今に伝える貴重な遺構となりました。

当社は創業120周年の節目を機に、宿布発電所跡地の整備を進めてまいりました。

整備工事では、貯水池や余水吐、水車に送る管路の跡を掘り起こし、当時の発電設備を展示する木造平屋の展示館を建築しました。また、芝生広場、駐車場、案内板を設置し、だれでも自由に見学できる施設にしました。

展示館に設置された水車と発電機(ともに北陸電力寄贈)は、実際に宿布発電所で使用されていたものです。水車は国内で唯一現存する型式のものとされており、発電機とあわせて大変に貴重な設備です。

9月28日、同所で関係者約50名が出席して完成祝賀式典が行われ、当社取締役社長の櫻野泰則と北陸電力株式会社 水野弘一代表取締役副社長から東村新一 福井市長へ寄付採納目録が手渡され、福井市から両社に感謝状が贈呈されました。

会 社 の 概 要

(2019年9月30日現在)

創 業 1898年1月
設 立 1938年1月
資 本 金 301億851万615円
従業員数 2,638名

主要な営業所

本 店
福井市大手3丁目2番1号
〒910-0005 TEL(0776)21-2700

東 京 本 社
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL(03)3260-2111

北海道支店
札幌市中央区南1条西6丁目11番地
〒060-0061 TEL(011)261-7271

東 北 支 店
仙台市青葉区上杉5丁目3番36号
〒980-0011 TEL(022)262-2811

首都圏支店
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL(03)3260-4750

名古屋支店
名古屋市中区栄4丁目3番26号
〒460-8402 TEL(052)238-3011

技術研究所
つくば市鬼ヶ窪1043番地
〒300-2651 TEL(029)847-7501

海 外 拠 点
中国(香港)、台湾、ベトナム、スリランカ、ミャンマー

北 陸 支 店
金沢市広岡2丁目13番5号
〒920-8721 TEL(076)208-3230

関 西 支 店
大阪市西区靱本町1丁目11番7号
〒550-0004 TEL(06)6225-2226

中四国支店
広島市中区大手町4丁目6番16号
〒730-0051 TEL(082)241-3222

四 国 支 店
高松市木太町3027番地1
〒760-0080 TEL(087)862-2011

九 州 支 店
福岡市中央区渡辺通4丁目10番10号
〒810-0004 TEL(092)721-0011

国 際 支 店
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL(03)3235-8639

役 員 の 状 況

(2019年9月30日現在)

取締役及び監査役

取締役会長	樋 口 靖	取 締 役	広 西 光 一
取締役社長 (代表取締役)	櫻 野 泰 則	取 締 役	湯 本 壬 喜 枝
専務取締役	小 川 晋	常 勤 監 査 役	小 西 純 治
専務取締役	嘉 藤 好 彦	監 査 役	鮎 川 眞 昭
専務取締役	小 川 嘉 明	監 査 役	佐 藤 建
常務取締役	日 高 功 二	監 査 役	竹 花 豊

(注) 取締役広西光一及び湯本壬喜枝の両氏は社外取締役、監査役鮎川眞昭及び竹花豊の両氏は社外監査役であります。

執行役員

※ 執行役員社長	櫻 野 泰 則	常務執行役員	岡 市 光 司
執行役員副社長	高 嶋 正 彦	常務執行役員	梶 山 雅 生
執行役員副社長	渋 川 智	執 行 役 員	大 島 邦 彦
※ 専務執行役員	小 川 晋	執 行 役 員	星 国 人
※ 専務執行役員	嘉 藤 好 彦	執 行 役 員	住 吉 徳 夫
※ 専務執行役員	小 川 嘉 明	執 行 役 員	築 田 秀 之
※ 常務執行役員	日 高 功 二	執 行 役 員	永 田 尚 人
常務執行役員	山 崎 晶	執 行 役 員	柏 原 貴 彦
常務執行役員	飯 田 宏	執 行 役 員	川 村 和 彦
常務執行役員	岸 研 司	執 行 役 員	渡 辺 裕 之
常務執行役員	上 田 真	執 行 役 員	山 下 雅 人
常務執行役員	大 野 雅 紀	執 行 役 員	平 野 譲

(注) ※印は取締役兼務であります。

ご希望の方にはコーポレートレポートをお送りします

本年8月に「熊谷組グループ コーポレートレポート2019」(A4判、64ページ)を発行しました。当社グループの経営方針、事業戦略やCSRの取り組みについて紹介しています。

ご希望の方はメールまたはFAXで、「コーポレートレポート希望」と書き、送付先の郵便番号、住所、氏名を当社下記コーポレートレポート請求先までお知らせください。

なお、お知らせいただいた個人情報は、コーポレートレポートの送付のみに使用させていただきます。

● コーポレートレポート請求先

(メールアドレス) kabushiki@ku.kumagaigumi.co.jp (FAX) 03-3235-5389



株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とお取引がない株主様
右記の電話照会先にご連絡ください。

マイナンバー制度に関する手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とお取引がない株主様
右記の電話照会先にご連絡ください。

単元未満株式の買増請求のお取扱いについて

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の場合、その単元未満株式数と併せて単元株式数(100株)となる株式数について、当社に買増請求をすることができます。

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とお取引がない株主様
右記の電話照会先にご連絡ください。

配当金のお支払期限について

配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。

支払開始日から3年以上経過した配当金については除斥期間を経過したものと、ご請求いただいてもお支払することができません。配当金はお支払開始後お早目にお受け取りください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日 そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネット
ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<<https://www.kumagaigumi.co.jp/>>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所

表紙写真 工事名:しこちゅ〜ホール(四国中央市市民文化ホール)
発注者:四国中央市

愛媛県四国中央市は製紙業が盛んであることから、「紙のまち」をキーワードに設計された四国中央市市民文化ホール。鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建て、延床面積約6,000㎡の規模を有し、内部は1,007席の客席が設置された大ホールと140席の格納式可動席を備え、スタッキングチェア72席と合わせ最大212席の客席を持つ小ホールで構成されています。特徴的な内装を魅せるのは、壁・天井が折り紙を折った際の折り目の連続によるクラフト細工のような陰影が美しい大ホールです。また建物のアクセントにもなっている中央の斜め壁の部分は、オリジナル制作のタイルで、1枚1枚が紙を折ったような形状をしています。